

次世代を担う子どもたちの「生きる力」の向上を目指す 「防災キッズ育成サポートプロジェクト」が 文部科学省 青少年の体験活動推進企業表彰「審査委員会奨励賞」を受賞

産経新聞社、積水ハウスと大阪ガスによる「防災キッズ育成サポートプロジェクト」が、文部科学省が主催する令和元年度「青少年の体験活動推進企業表彰」*1において「審査委員会奨励賞」を受賞しました。

STEP.1



子どもたちの防災&減災体験学習プログラム
防災出前授業「空の教室」
(積水ハウス「住ムフムラボ」にて)

STEP.2



子どもたちの防災&減災体験学習ツアー
稲村の火ノ広八幡神社訪問学習

STEP.3



次世代につなぐ防災&減災フォーラム
子どもたちからの体験報告
(大阪ガス「ハグミュージアム」にて)

近年多発する自然災害を背景に、防災・減災という観点から子供たちの「生きる力」を育むことを目的に、産経新聞社、積水ハウス、大阪ガスの3社で「震災の経験を次世代に」実行委員会を組織し、2017年から体験学習型の「防災キッズ育成サポートプロジェクト」を展開しています。

本プロジェクトは「学ぶ、感じる、語り継ぐ」をテーマに「防災&減災体験学習プログラム」を通して、子どもたち自身が防災・減災のための行動のあり方を考え、理解する「場」を創出し、日頃から災害への備えや対処を考え、身につけ、もしもの時に実践できる防災キッズを育成・支援することを目的とした、次世代教育プログラムを特徴としています。

より多角的、立体的に取り組みを実施するために、各企業の特性（情報発信、住まい、インフラ）を活かした連携体制を構築。震災の経験と教訓を踏まえ、人々が助け合い、安全で安心して暮らせる地域づくりが進められるとともに、その知見を国内外に広め、世代を超え、次世代に継承していくことこそが私たちの使命、想いです。

*1：文部科学省が、社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行った企業を表彰する制度です。
平成25年度から表彰を開始し、今回74企業（大企業66企業、中小企業8企業）の応募がありました。
青少年の体験活動推進企業表彰サイト https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00157.html